

# 町民目線の町政執行を

明けましておめでとございます。輝かしい希望に満ちた新年をご家族の皆さまとお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は浦幌町が開町120周年を迎え1月に6000発の冬の花火を打上げさせていただきましたが、1年間北海道日本ハムファイターズの中島選手、西村選手が浦幌町応援大使を務めていただきました。

「浦幌町小中一貫コミュニティスクール委員会」が文部科学大臣表彰を受賞し、長年の懸案であった札幌医科大学が保管しているアイヌの遺骨についても浦幌アイヌ協会へ返還されました。

6月5日の開町記念日に式典を開催し、これまでの多くの功績者の皆さんを表彰させていただきましたが、改めて浦幌町の歩みを振り返る1日となりました。

昨年は2月に命の危険を感じる寒波の襲来とのニュースがあつたかと思えば、7月末から8月にかけて1週間以上の30度を超える猛暑も襲つたなど、気象変動の激しい年の中で基幹産業の農業は畑作、酪農共に大満足とはいかないまでもほぼ順調な収穫の秋を迎えることが出来ました。漁業につきましても秋サケやシシヤ毛魚など全体に不漁傾向となり、明暗を分けた年でもありましたので、今年こそすべての産業にとって良い年となるように願いたいものです。

地球の温暖化で1番影響を受けている国が日本だという分析をドイツのNGOが発表しました。確かに最近の日本が受ける低気圧や台風などの災害や異常気象は地球の温暖化によるものと

考えざるをえません。

釧路地方気象台長が来庁されて、この20年間で十勝の平均気温が2度上昇しているが、今後は5度上がる可能性があるがあると衝撃的なお話を聞きました。十勝農業は寒冷地作物が主体であり、とんでもない影響が生じることになるかもしれないと愕然としました。

地球環境を守ろうとするパリ協定からアメリカが正式に離脱を表明しましたし、アマゾンと呼ばれる地域は地球上の熱帯雨林の半分を占めています。いまやブラジル政府による大規模



浦幌町長 **水澤 一廣** (みずさわ かずひろ)

開発が進んでおり、すでに日本の1.1倍に相当する森林が消失して、さらに開発の影響によると見られる森林火災が多発しています。

SDGs(エス ディー ジーズ)という2030年までに貧困に終止符を打ち持続可能な未来を追求しようとする地球を守るための17の目標も国連サミットで世界のリーダーにより採択されましたが、地球温暖化防止を求め運動を1人で始め、若者を巻き込み世界の運動にしているスウェーデンの勇氣ある16歳の少女は国連気象変動枠組み条約を協議しているスペインでのC o p 25でも演説しました。

経済のためには自然破壊は止むを得ないとする考え方は地球環境保護を視野に置く開発へと変換することを願わざるを得ません。浦幌町も74%が森林であり、森林の保全と育成は重要課題であると改めて感じているところで

昨年4月で平成の時代に幕を下ろして令和という新時代になりましたが、平成の最後の地方統一選挙が行われ、私も4期目の町政を担わしていただくことになりました。今後ともよろしくご指導をお願い申し上げます。

平成の時代は日本に戦争がなかった時代と言われますが、世界では至る所でテロや紛争が発生しており、令和の時代においても戦争の苦しみを知る日本が世界平和を追求していくことが大切です。

昨年はラグビーのワールドカップが日本で行われ、奇跡的な快進撃で日本チームが決勝トーナメント進出を果たしましたし、昨年の流行語大賞は日本チームの合言葉である「ワンチーム」になりました。私も高校時代はラグビー部に所属していましたが、夢中になつて応援しましたが、日本中がラグビーファンになつたような気がしました。

そして、今年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。

56年ぶりに東京で開催されるオリンピックですが、マラソンと競歩が猛暑の東京を避けて北海道で行うと突然のIOCの決定には驚かされました。より身近で選手の活躍を見ることが出来ることは素直に喜びたいし、今年オリンピックピック一色になることは間違いのないようです。

「第3期まちづくり計画」が4月から最後の年度を迎えることになり、新たな第4期計画作成に向かって進めています。

第3期計画中は多難な10年間でありましたが、町民の皆さんの協力とご理解をいただいで乗り越えてきました。今後の10年間はAIなどの急速な進化で予想も困難な時代になるかもしれません。しかし、AIはあくまでも人を補助するものであり、人間にとって便利な世の中を提供してくれるものです。

今や地方でも大都会でも情報は同じスピードで得ることが出来る社会ですが、政府が提唱しているのは人間が歩んできたこれまでの1狩猟社会↓2農耕社会↓3工業社会↓4情報社会からさらに進んでS o c i e t y 5 (ソサイエティ5)として一人ひとりのニーズに合わせてロボットやAIを活用して経済の発展と社会的問題を解決していく新たな未来社会を目指すものです。ある意味では地方だからこそAIの進化により恩恵を得ることが多いかもしれません。

令和の時代にも多様な社会を迎えて浦幌町としてしっかりと対応してまいります。

年頭に当たりまして、これまで同様に町民目線の町政執行を心がけていくことをお誓い申し上げます。今年が浦幌町にとって災害のない1年であり、今年が浦幌町にとって災害のない1年でより良い年であること、町民の皆様がますますのご隆盛とご健勝、そしてご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

# 災害のない五穀豊穰、豊漁の最良の年に

明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで2020年（令和2年）新年号初めての元旦を迎えられ、清々しく輝かしい新春を祝福されましたこと、心からお慶びを申し上げます。

平成最後31年の幕開けは大変素晴らしい穏やかなスタートであり、大きな期待と希望に夢を描いたところでありました。また10月には、新天皇陛下が即位を内外に宣言する即位礼正殿の儀が行われ、陛下は「国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら憲法に則り、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います」とのお言葉を述べられ、日本国民の多数がこのお言葉に胸を熱くし、心に留め感動されていることと

思います。反面、政治については、消費税の引き上げや日米貿易協定の承認など十分な議論もなく、締結され（日本農業、国民の食の安心・安全・国土の保全の役割など）将来の日本の行く末を案ずるものであります。大変厳しい状況にある地方に目を配っていただける真にやさしい政治を望みたいと願っています。

また、昨年、米中の経済貿易摩擦、日韓政治摩擦、北朝鮮の核の問題などもあり、世界は再び冷戦に突入したかに感じられ、その行く先に不安を感じておりますが、その一方、地球環境の変化によると思われる自然災害は、その深刻度を増しており、アマゾンやオーストラリアでの大規模な自然火災発生やヨーロッパ、アジア、アメリカで起きています。モンsoonやハリケーンによる大洪水などと同様に、国内でも超大型の台風15号、19号、21号が日本の国土を縦断する形で襲来し、その様子が恐怖を覚えながらテレビ報道を見たところでありませう。被災されました皆様や災害にあわれました皆様に心から

お見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧、復興を祈念申し上げます。幸いにもわが町浦幌はその難から逃れることができましたが、今後何時このような台風が襲来しても不思議でないことを、改めて認識する必要がありますと考えています。

5月には道内初の39度を佐呂間町で記録、今や当然のように国内で40度を超える気温が観測されております。こうした地球環境の変化を憂い、スウェーデンの環境活動家である16歳のグレタ・トゥーンベリさんが地球温暖化対策を厳しい口調で訴えておりますが、私たちも環境問題の深刻さを今一度真に受け止め、豪雨・台風・洪水が重層



浦幌町議会議長  
ひろくに  
田村 寛邦

的に襲う時代を感知する知恵を持ち、自然の脅威に立ち向かう術を持たなければなりません。

さて、昨年の浦幌町を少し顧みます時、農業に関してはその多くを語る必要はないと思えます。天候的な変動はあったものの、大きな影響もなく推移したと思えますし、畜産も安定した価格であったと思っております。生産取扱高の発表などはありませんが、十勝全体取扱3500億突破との予測もある中で、本町においても120億を超える取扱高のお話もあり、現実であることを望みたいものであります。漁業につきましては、定置網（サケ）、シシヤ毛魚、カニ魚など大変厳しい状

況と聞いておりますが、この数年の経過の中で何が不漁の原因なのか、今後不安を残すところでありませうが、早く漁の回復を願うものであります。林業につきましては、国も環境問題を

を含め関連政策的な対策に乗り出し、光が差してきた感じもありませんが、流通はまずまずと聞いております。とりまく環境は、まだまだ厳しい状況であり、後継者問題や山林保全など種々の整備充実を図る必要を感じております。特に林業関係者の皆様のご努力と先進的活躍に敬意を表しますと共に、ご期待を申し上げます。

商業につきましましては、時代の急速な進歩と環境の変化に対し、関係者、従事者の方々一丸となり、知恵を結集され、努力とご苦労を積み重ねられていく姿を拝見させていただいてあります。厳しい諸条件の中ではありますが、商店街の活気、活力は、町の活力のバロメーターであることは申し上げますが、でもなく、今一度、商工会を中心に商店、購買者が互譲の精神を共有してともに二に二に合った購買力の向上を図ることができましたら望ましいと思うところであります。

私たち町議会も、平成25年4月に議会基本条例を施行し、「町民の福祉向上を旗印に」豊かなまちづくり、町民にわかりやすい議会、町民に開かれた議会、充実した議会を目指して、町民皆様の情報の提供、情報の共有、そして町民参加を図ることを目標として8年目の年を迎えました。

議会も二二ター制度の設置により、議会運営の評価やご意見、町民のご意見などの共有について、大変貴重な指導や厳しいご意見、ご叱責を賜りながら議会運営に反映させていただいてるところであります。

「議会報告会」「一般会議」「まちなかカフェEDF議会」「まちなかおじゃまD E議会」など毎年実施させていただき、

これも一重に町民皆様の温かいご理解と各種団体の深いご理解ご協力の賜物と確信をしております。今後共一層のご支援を下さいますようお願い申し上げます。

また昨年の統一地方選挙におきまして、議会として「議員のなり手不足」について、4年間に渡り審議、検討を重ね、町民の皆様と共に手不足解消に向かつて議論を重ね真剣に対策に向き合っただころでありませうが、結果としてその甲斐もあり、欠員が解消されましたこと、改めて有権者である町民の皆様から敬意を表し感謝とお礼を申し上げます。

令和2年も町民と議会が同じ目線に立ち、効率よく効果的な運営ができませんよう、今後も議会としての責務を全うし、町民の皆様のご期待に最大限お応えできますよう一層開かれた議会を目指して努力して参りたいと思っております。

議会活性化につきましては、「活性化」や「改革」との言葉は今後表現上の使用はいたしません、今までの活動の評価と総括を行い、その内容を精査しながら一層の充実を図って参りたいと思っております。また、「議員のなり手不足」の問題は、日本全国の議会における永遠の課題となっており、浦幌町議会においても今後とも審議検討を重ねて参りたいと考えておりますので、町民皆様の特段のご協力、ご理解とさらなるご指導ご叱責を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、例年になく、早くからインフルエンザの流行、感染拡大予報が出されておりますので、町民の皆様には十分ご留意下さい。新年が町民皆様にとって、ご健勝で多幸でありますこと、災害のない五穀豊穰、豊漁の最良年でありませうことを祈念申し上げます。年頭の言葉といたしま